



あべ しゅんや
阿部 竣也 議員(八雲高等学校1年)

AEDの設置

AEDによる救命処置は大変効果的です。町内の公共施設にAEDの増設、または、道路にAEDボックスのようなものの設置を検討できませんか。

答弁)町長

現在、町では、役場をはじめとする公共施設や学校を合わせて35台のAEDが設置されているほか、商業施設や民間事業所にも設置されている状況にあります。

日本救急医療財団による「AEDの適正配置に関するガイドライン」では、施設内でのAEDの配置にあたっては、心停止から5分以内に電気ショックが可能なことや、わかりやすい場所、心停止のリスクがある場所の近くに配置することなどを考慮すべきとされています。

次に、道路にAEDボックスのようなものを設置することについては、屋外における設置となることから、AEDの保管方法や使用環境に条件があること、また、管理上の面から難しいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。

ゆめ議会の感想

僕は今回のゆめ議会を通して、色々なことを感じる事ができました。まず、議論についてです。議論は質問と答弁で成り立ちますが、改めて自分の議論を見返してみると、元々は再質問をする予定でしたが、いざ議場に立って話してみると、再質問はできませんでした。こう考えてみると、普段、議場で議論している方々はとても凄いなと感じました。今後、議場に立つ機会が訪れるかもしれないため、その時までには、しっかりと自信を持って議論できるよう、今のうちから練習しておきたいです。

次に、町や地域のさまざまな問題についてです。僕は、AEDについての問題を取り上げました。しかし、下調べが不十分でAEDの問題を深く掘り下げることができませんでした。AEDだけでなく、他の問題でも深く掘り下げられるよう、下調べをしっかりしなければいけないと思いました。



ごとう あいり
後藤 愛莉 議員(八雲高等学校1年)

安全な通学路にするための環境整備

遊楽部踏切(公民館近く)～高校までの道路には歩道が整備されていません。学生や町民のために歩道の環境整備はできませんか。

答弁)町長

歩道の整備につきましては、町内の特に市街地の道路沿いでは、建物が隙間なく建ち並んでいるため、歩道を設置するには、道路沿いの方々の土地を譲ってもらったり、建物を建て替えてもらったりする必要があります。これには、道路沿いの方々の理解と協力のほか、多大な費用が必要となるため、整備を進めることが難しい状況であることを、ご理解いただきたいと思います。

このため、これまで通学路等の状況の改善に向けて、道路脇にある側溝を道路の下に埋め込んで、表面を平らにすることで歩行スペースを広げたり、小・中学校の通学路について、警察や教育委員会なども連携しながら、通行車両に対する注意喚起として、看板や路面標示の設置などを行ってきております。

後藤議員からご指摘のありました、小学校、高校付近の道路のほかにも、同じように歩道の環境整備が望ましいという箇所もありますので、今後は、現地の調査・確認をして、できる限り環境整備に取り組んでいきたいと考えておりますので、ご理解願いたいと思います。

ゆめ議会の感想

私は今回、初めて「やくも少年少女ゆめ議会」に参加しました。町長やたくさんの議員の方々と一緒に議会を行うことができ、とても良い経験になりました。

このゆめ議会を通して、八雲町をより良くするためにはどのようなことを町長に伝えたら良いのか、そして伝えたことで、これは若い人達と高齢者の方々のどちらにもメリットがあるものなのかと、色々なことを考えました。実際に私が町長に言った質問が本当に、町民の方々にとってメリットがたくさんあるものだったのかは分かりませんが、自分の考えを自分の言葉で議会を通して町長や議員の方々に伝えることができ良かったと思います。そして、町長は、私の質問に対して、再質問をする必要がないくらいに丁寧にわかりやすく答弁してくださったことにとても感謝しています。

このゆめ議会で、私は得られたものがたくさんあり、ゆめ議会を行うことの大切さを感じました。これからは、八雲町について深く考え、私が高校生の中に八雲町のためになにか貢献できたら良いなと思います。